

「当院 ICU における循環器内科の心疾患に罹患した入院患者のリハビリテーションに関する要因分析」へのご協力のお願い

山口県立総合医療センター看護部では、臨床研究倫理審査委員会の審査を受けて、院長の許可のもとで下記の研究を実施しております。内容を確認していただき、研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究の情報が用いられることを希望されない場合には、下記の問い合わせ先までお申し出ください。

●研究課題名

当院 ICU における循環器内科の心疾患に罹患した入院患者のリハビリテーションに関する要因分析

●目的と意義

当院 ICU では年間約 80 名の循環器内科患者様が ICU に入室します。循環器内科患者様は、強心薬や昇圧剤、また利尿剤等の持続的な投与のもと循環・呼吸・体液管理がなされており、状況により人工呼吸器や体外循環装置を装着していることもあります。呼吸状態、循環動態が不安定で離床に躊躇されることも多く、かつ鎮静、鎮痛のコントロールに難渋することが予測される循環器内科患者様に着目し、当院 ICU での循環器内科患者様における早期リハビリテーションの実態を調査し、早期リハビリテーションを阻害する要因の分析をしたいと考えました。

●実施予定期間

院長許可後～2025 年 12 月 31 日

●対象患者

2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日に山口県立総合医療センターICU に入室した循環器内科患者様

●方法

2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日まで当院 ICU に入室した循環器内科患者様に対し、初回早期離床介入時に鎮痛を検討した、あるいは鎮静剤流量（プロポフォール[®]）あるいはデクスメデトミジン[®]）の減量を検討した患者様、しなかった群を抽出。退室時離床スコアに差が出るかを後ろ向きに調査します。

●使用する情報

ICU 在室日数、ICU 退室時の離床スコア、入院時、退室時の SOFA スコア、入院時 P/F 値、入院時 LVEF、IVC、早期離床介入までの日数、カテコラミン投与の有無（入室期間中の最大 γ 投与量）、離床前 2 時間以内の鎮痛剤投与、または増量、循環器内科で疼痛を訴える患者数を後ろ向きに調査し要因分析を行います。

●他の研究機関への情報提供

他の機関への資料・情報の提供はありません。

●個人情報の取り扱い

利用する情報から個人を特定できる情報は削除します。また、研究結果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人を特定できる情報を利用しません。

●利益相反

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

●公表

学会での報告を予定しています。

●問い合わせ先

地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター
看護部 集中治療室 看護師 岡部佑香（研究責任者）
電話：0835-22-4411（代表）